

大学院総合学術研究科のアドミッション・ポリシー

1 教育理念・目的

広い視野と応用実践能力を兼ね備えた「地域で活躍できる人材」「国際的に通用する人材」の養成をめざし、優れた研究者と高度専門職業人の養成機能を強化するとともに、社会人に対するより高度な教育機会の確保を図ります。また、社会や時代の要請に柔軟に対応しつつ、地域に根差した高度な研究を行い、その成果を地域に還元することをめざします。

2 求める学生像

広い視野と応用実践力を備え、地域で活躍、また国際的に通用する力を身につけたいと考える人

3 教育の特色

(1) 最先端の研究者養成と高度専門職業人養成の統合を行います。

(2) 幅広い視野を持つ人材の育成を可能にする科目履修方法

ア 研究者に実務的なノウハウ(バイオベンチャー企業の起業ノウハウなど)を付与し、または専門的な研究に別の分野の知識を加えることで、新たな学際的な研究を萌芽させることなどを目的として、研究科内他専攻の様々な科目の履修を単位認定しています。

イ 他専攻の教員から部分的に論文指導を受けることが可能とする、学内留学制度を実施しています。

(3) 社会人の教育機会の確保のため、標準年限を超えて計画的に履修することができる、長期履修制度を導入しています。

ただし、博士課程後期受験者、経営情報学専攻1年制課程受験者及び外国人留学生(日本の国籍を有しない者で本学大学院において教育を受ける目的をもって入国している者又は入国しようとする者)を除きます。

4 各専攻のアドミッション・ポリシー

[人間文化学専攻(修士課程)]

・多様化した社会で文化的、科学的に指導者として貢献できる職業人、研究者をめざす人

[経営情報学専攻(修士課程)]

・組織(企業、自治体、各種団体)の直面する諸問題に関心を持つ人
・新産業の構築、新規事業を計画・推進したい人
・情報化戦略の策定や情報化企画・設計、システム運営に関心を持つ人

[生命システム科学専攻(博士課程前期・後期)]

・生命システム、すなわち人間の生活・医療・環境保全・修復に関心があり、地域社会に貢献できる高度な専門職業人としての技術者や研究者をめざす人

[保健福祉学専攻(修士課程)]

・保健・医療・福祉分野において地域社会に貢献する専門職としてさらに高度な知識と技量を学ぶ意欲に満ちた人

5 各専攻の特色

[人間文化学専攻（修士課程）]

- (1) 秋季入学制度の導入
- (2) 留学生の受入れへの対応
- (3) 昼夜土曜開講の実施

[経営情報学専攻（修士課程）]

- (1) 最新のマネジメント理論と経営・情報スキル教育を重視
- (2) 経営と情報に精通した学際的大学院教育
- (3) 社会人向け1年制課程を設置
- (4) 大学院教育・研究を地域社会に公開
- (5) 昼夜土曜開講の実施

[生命システム科学専攻（博士課程前期）]

- (1) 最先端バイオテクノロジーの修得と、広範な生命科学や環境科学の科目履修による研究スペシャリストの養成
- (2) 多様な大学院生を受け入れるための弾力的かつ多面的な研究指導
- (3) 研究成果を基盤とした産学官連携・地域貢献活動の推進

[生命システム科学専攻（博士課程後期）]

- (1) 先進医療につながるバイオ・ナノサイエンス、人と自然にやさしい環境保全・修復・循環科学、生活の質の向上に寄与する食品・健康科学などの多面的な研究への取組み
- (2) 産学官プロジェクト・地域貢献活動拠点への院生参画による実践的な教育研究活動
- (3) 複合領域・研究プレゼンテーション力を備えた研究スペシャリストの養成
- (4) 他専攻の教員の参画と三原キャンパス、広島キャンパスでの受講・指導も可能

[保健福祉学専攻（修士課程）]

- (1) 保健・医療・福祉の連携と統合を重視した多彩な科目の提供
- (2) 社会人及び短期大学等の卒業生の積極的な受入れ
- (3) 広島キャンパスでのサテライトキャンパスの開設
 - ア 三原キャンパスと広島キャンパス間に遠隔講義システムを設置
 - イ 三原キャンパスと広島キャンパスに大学院生研究室を設置
- (4) 昼夜土曜開講の実施
- (5) 大学院教育・研究による地域貢献